

あのビルが建つ前は、ここから

ここから



まつもと市民芸術館シアターパーク企画

まつもと、景の声
kei no koe

声から声へ、風景の記憶。

Voice of the landscape in Matsumoto

どんな景色が見えただろう？

What was the view like from here before that building was built?

2025年 2/8 (土)・2/9 (日)

まつもと市民芸術館 (2階) オープンスペース

馬が通った土の跡。人がひしめくアーケード。凍った田んぼ。銭湯の煙突。お菜洗いをした川のほとり。北アルプスの稜線を背景に、変わりゆく風景と私たちの生活。あの建物が建つ前、ここからどんな景色が見えただろう？かつてあった景色の声を聴き、地域に暮らす人と共に編集し、2025年2月、まつもと市民芸術館2階オープンスペースで演劇作品として上演します。

大きなガラス窓から見える街の風景を背に
声から声へ、紡がれる記憶。

◎出演

下地尚子

玉井夕海

小池廣美

小松由羽

仙波梨英子

前田紗希 ほか

More information
about the project.



「まつもと、景の声」
記録ノート

まつもと市民芸術館シアターパーク企画

まつもと、景の声

2025年2月8日(土)・9日(日)

まつもと市民芸術館(2階)オープンスペース

◎各回 15:00 開演 ※開場は開演の30分前

◎チケット料金：【全席自由・税込】一般 1,000円 / U25 500円 (枚数限定・前売のみ)

※未就学児入場不可

※U25 (25歳以下)チケットは当日年齢確認をご提示ください。

※車椅子または補助犬を伴ってご入場の方は、チケット購入時にまつもと市民芸術館チケットセンターまでお知らせください。

チケット発売日 2024年12月20日(金) /

◎プレイガイド

まつもと市民芸術館チケットセンター(10:00-18:00)

【窓口・電話】 0263-33-2200

【WEB】 <https://www.mpac.jp/> (要事前会員登録)

※発売初日は窓口販売なし

◎ご飯会に参加して下さった皆様
大町から松本に移住したSさん
祖母の実家が松本のYさん
六九で育ったKさん
信州大学進学で松本にきたSさん
合併で松本市民になったKさん
松本で生まれ松本で暮らすMさん
…などなど

構成・演出 藤原佳奈

制作 加藤なぎ

宣伝美術 大沢夏海

企画制作 すずめの会

「まつもと、景(けい)の声」のクリエイションチーム。

松本に移住して12年の俳優・下地尚子が呼びかけ人となり、松本在住の戯曲作家・演出家の藤原佳奈、信州大学卒業後、北アルプス展望美術館(池田町立美術館)に勤務する加藤なぎ、同じく信州大学卒業後、長野市でネオンホールの運営にかかわりながら、デザイナーとして活動する大沢夏海を中心に集い、ウタウタイの玉井夕海、地域の有志参加者とともに上演へ向かう。「すずめの会」の名称は信州人の気質を表す言葉「松本のスズメ、諏訪のトンビ、上田のカラス」より。今回のプロジェクトは、暮らしの記憶や、風景の移り変わりについて、まずはちゅんちゅんと語り合うことから進めている。